ダイワ米国厳選
バリュー株ファンド
(ダイワＳＭＡ専用)

運用報告書(全体版)
第６期
(決算日　2020年11月30日)
(作成対象期間　2019年11月29日～2020年11月30日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式		
信託期間	約10年９カ月間（2015年３月６日～2025年11月28日）		
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。		
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ米国厳選株マザーファンドの受益証券	
	ダイワ米国厳選株マザーファンド	米国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みます。また、ＤＲ（預託証券）を含みます。）	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率		無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率		無制限
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。		

◇TUZ05659202011 30◇

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、米国の株式の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資することにより、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント
Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目９番１号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL　０１２０－１０６２１２
(営業日の９：00～17：00)
https://www.daiwa-am.co.jp/

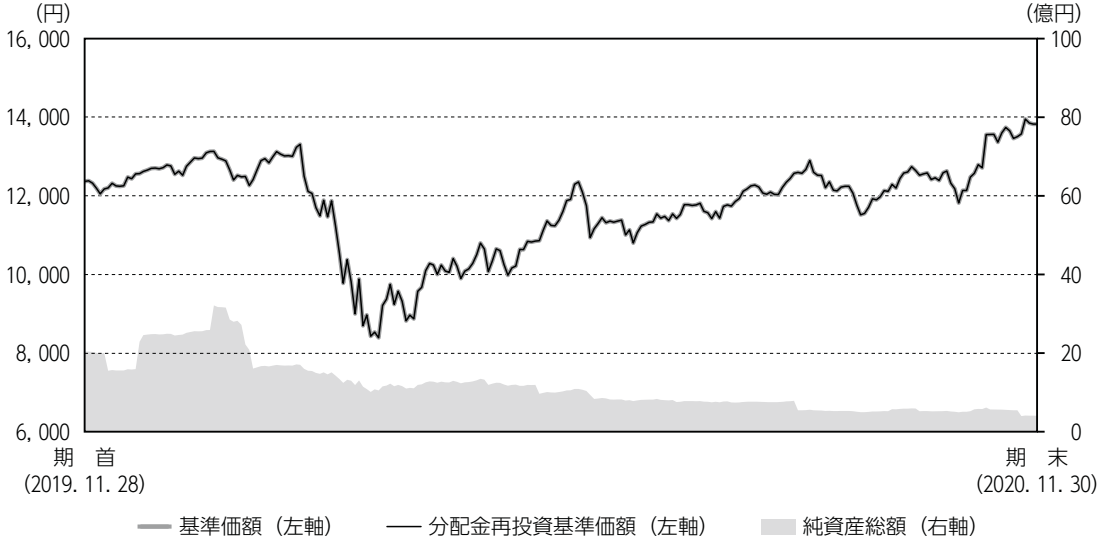
最近５期の運用実績

決算期	基準価額			S＆P 500指数（円換算）		株式組入比率	株式先物比率	純資産総額
	（分配落）	税込み分配金	期中騰落率	（参考指数）	期中騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
2期末（2016年11月28日）	9,374	0	△ 1.8	9,850	△ 3.2	92.7	—	8,530
3期末（2017年11月28日）	10,967	0	17.0	11,449	16.2	91.2	—	2,634
4期末（2018年11月28日）	10,983	0	0.1	12,101	5.7	94.2	—	3,944
5期末（2019年11月28日）	12,367	0	12.6	13,678	13.0	94.7	—	2,036
6期末（2020年11月30日）	13,824	0	11.8	14,987	9.6	95.5	—	406

（注１）基準価額の騰落率は分配金込み。
（注２）Ｓ＆Ｐ500指数（円換算）は、Ｓ＆Ｐ500指数（米ドルベース）をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。Ｓ＆Ｐ500指数（米ドルベース）の所有権およびその他一切の権利は、Ｓ＆Ｐ Dow Jones Indices LLC が有しています。Ｓ＆Ｐ Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。
（注３）海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
（注４）指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
（注５）株式および株式先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
（注６）株式先物比率は買建比率－売建比率です。

運用経過

基準価額等の推移について



＊分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
＊分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

期　首：12, 367円
期　末：13, 824円（分配金 0 円）
騰落率：11. 8％（分配金込み）

■基準価額の主な変動要因

米ドルが対円で下落（円高）したことはマイナス要因となりましたが、米国株式市況が上昇したことなどがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ米国厳選バリュー株ファンド（ダイワＳＭＡ専用）

年　月　日	基準価額		S＆P 500指数(円換算)		株式組入比率	株式先物比率
		騰落率	（参考指数）	騰落率		
	円	%		%	%	%
（期 首）2019年11月28日	12,367	—	13,678	—	94.7	—
11月末	12,385	0.1	13,699	0.2	95.0	—
12月末	12,760	3.2	14,075	2.9	93.7	—
2020年１月末	12,495	1.0	14,199	3.8	93.5	—
２月末	11,699	△ 5.4	12,924	△ 5.5	91.0	—
３月末	9,571	△ 22.6	11,334	△ 17.1	95.7	—
４月末	10,797	△ 12.7	12,456	△ 8.9	95.4	—
５月末	11,246	△ 9.1	12,917	△ 5.6	94.9	—
６月末	11,063	△ 10.5	13,043	△ 4.6	95.0	—
７月末	11,434	△ 7.5	13,463	△ 1.6	92.3	—
８月末	12,597	1.9	14,655	7.1	93.7	—
９月末	11,901	△ 3.8	13,992	2.3	95.0	—
10月末	12,135	△ 1.9	13,728	0.4	93.5	—
（期 末）2020年11月30日	13,824	11.8	14,987	9.6	95.5	—

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について （2019. 11. 29 ～ 2020. 11. 30）

■米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首から2020年１月中旬にかけては、米中通商協議が進展して第１段階の合意が署名されたことなどから、上昇基調で推移しました。しかし１月下旬に、中国において新型コロナウイルスの感染拡大が懸念されて株価が下落したことに続き、２月後半以降は中国以外における感染拡大が懸念され、株価は２月後半から３月中旬にかけて大幅に下落しました。その後は、各国政府および中央銀行が大胆な景気刺激策や金融緩和策を行ったこと、またロックダウン（都市封鎖）緩和による経済活動再開期待などを背景に、堅調に推移しました。10月下旬にかけては、これまでの株価上昇による高値警戒感に加え、追加経済対策の議論が停滞したことや、欧州において新型コロナウイルスの感染再拡大によって一部で行動制限を再び強める動きが発生したことへの警戒感もあり、軟調に推移しました。11月以降は、米国大統領選挙に関する不透明感が解消されたことや新型コロナウイルスのワクチン早期開発期待が高まったことなどから、米国株式市況は上昇しました。

■為替相場

米ドルは対円で下落しました。

米ドルの対円為替相場は、当作成期首から2020年１月中旬にかけては、米中貿易摩擦に対する懸念後退などから、底堅く推移しました。しかし１月下旬以降は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大やロックダウン（都市封鎖）に伴う景気見通しの悪化などから、値動きの荒い展開となりました。市場の混乱による米ドル需要の高まりなどから一時的に米ドルが上昇（円安）する局面もあったものの、リスク回避による円買いが優勢となり、米ドルは対円で下落しました。その後も、米国の金融緩和が長期化するとの思惑や米国の実質金利が低下したことなどから米ドルの上値は重く、円に対し下落基調で推移しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「ダイワ米国厳選株マザーファンド」の受益証券を通じて、米国の株式の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。

■ダイワ米国厳選株マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。

ポートフォリオについて （2019. 11. 29 ～ 2020. 11. 30）

■当ファンド

「ダイワ米国厳選株マザーファンド」の受益証券に投資しました。

■ダイワ米国厳選株マザーファンド

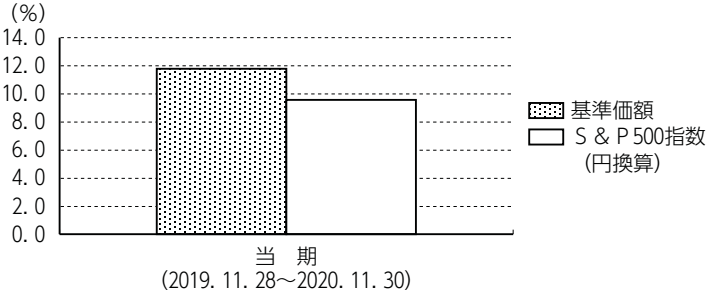
当ファンドは、外貨建資産の運用にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託しております。

当作成期の株式組入比率は、おおむね90％以上の高位を維持しました。

銘柄選択にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーでは、独自に算出する投資対象企業の本源的価値と比較して著しく割安な銘柄に厳選投資することを基本方針としています。財務内容が健全であり、経営陣の質が高く、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている企業に厳選投資しました。セクター別では、金融やコミュニケーション・サービスを高位で組み入れました。銘柄別では、ALPHABET（コミュニケーション・サービス）、KEURIG DR PEPPER（生活必需品）、CBRE GROUP（不動産）などを高位で組み入れました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期は、経費控除後の配当等収益が計上できなかったため、収益分配は見送りとさせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（１万口当り）

項　　目		当期 2019年11月29日 ～2020年11月30日
当期分配金（税込み）　(円)		**－**
対基準価額比率	(%)	－
当期の収益	(円)	－
当期の収益以外	(円)	－
翌期繰越分配対象額	(円)	3,824

（注１）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
（注２）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
（注３）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針

■当ファンド

「ダイワ米国厳選株マザーファンド」の受益証券を通じて、米国の株式の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。

■ダイワ米国厳選株マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。

1 万口当りの費用の明細

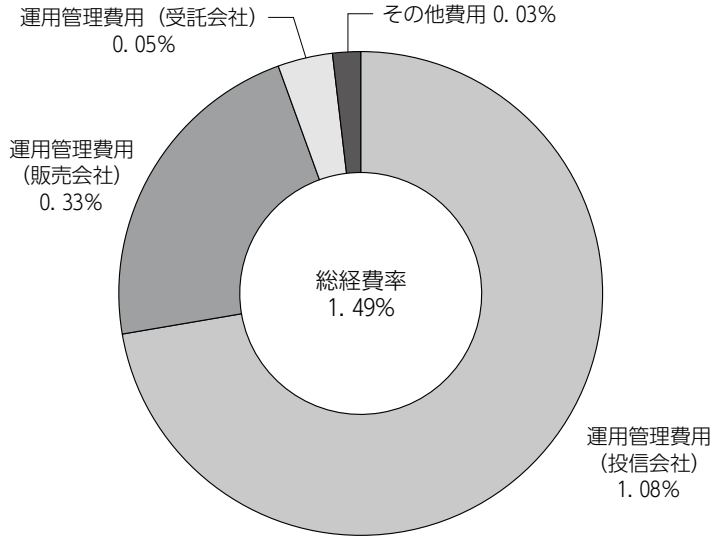
項　　目	当　期 (2019. 11. 29～2020. 11. 30)		項　目　の　概　要
	金　額	比　率	
信　託　報　酬	173円	1. 471%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 **当作成期中の平均基準価額は11, 769円です。**
（投信会社）	(128)	(1. 084)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販売会社）	(39)	(0. 332)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(7)	(0. 055)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	5	0. 040	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株　　式）	(5)	(0. 040)	
有価証券取引税	0	0. 002	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株　　式）	(0)	(0. 002)	
そ の 他 費 用	3	0. 028	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（保管費用）	(3)	(0. 022)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(1)	(0. 006)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ　の　他）	(0)	(0. 000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合　　計	181	1. 541	

（注１）当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
（注２）各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
（注３）各比率は１万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第３位未満を四捨五入してあります。
（注４）組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「１万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.49%です。



（注１）１万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注２）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注３）各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

（2019年11月29日から2020年11月30日まで）

	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ米国厳選株マザーファンド	454,359	1,665,000	916,043	3,221,000

（注）単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

（2019年11月29日から2020年11月30日まで）

項目	当期
	ダイワ米国厳選株マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	7,750,360千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	4,361,978千円
(c) 売買高比率 (a)／(b)	1.77

（注１）(b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。
（注２）単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種類	期首	当期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
ダイワ米国厳選株マザーファンド	559,971	98,287	403,517

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年11月30日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
ダイワ米国厳選株マザーファンド	403,517	98.1
コール・ローン等、その他	7,665	1.9
投資信託財産総額	411,182	100.0

（注１）評価額の単位未満は切捨て。
（注２）外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、11月30日における邦貨換算レートは、１アメリカ・ドル＝103.89円です。
（注３）ダイワ米国厳選株マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（4,067,725千円）の投資信託財産総額（4,111,000千円）に対する比率は、98.9％です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年11月30日現在

項目	当期末
(A)資産	**411,182,747円**
コール・ローン等	7,665,169
ダイワ米国厳選株マザーファンド（評価額）	403,517,578
(B)負債	**5,081,837**
未払信託報酬	5,062,899
その他未払費用	18,938
(C)純資産総額（A－B）	**406,100,910**
元本	293,759,940
次期繰越損益金	112,340,970
(D)受益権総口数	**293,759,940口**
1万口当り基準価額（C／D）	**13,824円**

＊期首における元本額は1,646,990,383円、当作成期間中における追加設定元本額は1,395,126,530円、同解約元本額は2,748,356,973円です。
＊当期末の計算口数当りの純資産額は13,824円です。

■損益の状況

当期　自2019年11月29日　至2020年11月30日

項　　目	当　　期
(A)配当等収益	**1,134円**
受取利息	4,460
支払利息	△ 5,594
(B)有価証券売買損益	**62,215,402**
売買益	192,575,434
売買損	△ 130,360,032
(C)信託報酬等	△ **17,527,640**
(D)当期損益金（A＋B＋C）	**44,686,628**
(E)前期繰越損益金	**9,254,673**
(F)追加信託差損益金	**58,399,669**
(配当等相当額)	(40,549,640)
(売買損益相当額)	(17,850,029)
(G)合計（D＋E＋F）	**112,340,970**
次期繰越損益金（G）	**112,340,970**
追加信託差損益金	58,399,669
(配当等相当額)	(40,549,640)
(売買損益相当額)	(17,850,029)
分配準備積立金	53,942,435
繰越損益金	△ 1,134

（注１）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
（注２）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
（注３）収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。
（注４）投資信託財産（親投資信託）の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用：6,867,231円（未監査）

■収益分配金の計算過程（総額）

項　　目	当　　期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	44,687,469
(c) 収益調整金	58,399,669
(d) 分配準備積立金	9,254,966
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	112,342,104
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e－f)	112,342,104
(h) 受益権総口数	293,759,940口

《お知らせ》
■信託期間の延長について
信託期間を５年間延長し、信託期間終了日を2020年11月27日から2025年11月28日に変更しました。
■商号変更について
大和証券投資信託委託株式会社は、2020年４月１日付で、商号を「大和アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。

ダイワ米国厳選株マザーファンド

運用報告書　第17期　（決算日　2020年11月30日）

（作成対象期間　2020年５月29日～2020年11月30日）

ダイワ米国厳選株マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

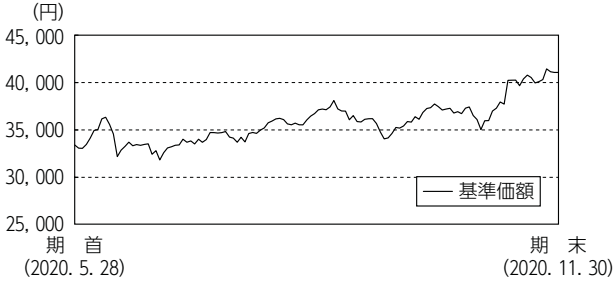
★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運　用　方　針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	米国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みます。また、ＤＲ（預託証券）を含みます。）
株式組入制限	無制限

大和アセットマネジメント
Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目９番１号
https://www.daiwa-am.co.jp/

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年月日	基準価額		S&P500指数(円換算)		株式組入比率	株式先物比率
		騰落率	(参考指数)	騰落率		
	円	%		%	%	%
(期首)2020年5月28日	33,379	—	30,929	—	95.2	—
5月末	33,045	△ 1.0	30,752	△ 0.6	95.2	—
6月末	32,569	△ 2.4	31,051	0.4	95.4	—
7月末	33,705	1.0	32,051	3.6	92.5	—
8月末	37,183	11.4	34,888	12.8	93.2	—
9月末	35,168	5.4	33,310	7.7	95.1	—
10月末	35,947	7.7	32,682	5.7	93.6	—
(期末)2020年11月30日	41,055	23.0	35,679	15.4	96.2	—

(注1) 騰落率は期首比。
(注2) S&P500指数(円換算)は、S&P500指数(米ドルベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。S&P500指数(米ドルベース)の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。
(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
(注5) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：33,379円　期末：41,055円　騰落率：23.0%

【基準価額の主な変動要因】

米国株式市況が上昇したことなどがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首から2020年8月下旬にかけて、新型コロナウイルスによるパンデミック(世界的大流行)を受けて各国政府および中央銀行が大胆な景気刺激策や金融緩和策を行ったこと、またロックダウン(都市封鎖)緩和による経済活動再開期待などを背景に、堅調に推移しました。10月下旬にかけては、これまでの株価上昇による高値警戒感に加え、追加経済対策の議論が停滞したことや、欧州において新型コロナウイルスの感染再拡大によって一部で行動制限を再び強める動きが発生したことへの警戒感もあり、軟調に推移しました。11月以降は、米国大統領選挙に関する不透明感が解消されたことや新型コロナウイルスのワクチン早期開発期待が高まったことなどから、米国株式市況は上昇しました。

○為替相場

米ドルは対円で下落(円高)しました。

当作成期の米ドルの対円為替相場は、下落基調で推移しました。米国の経済指標が市場予想を上回ったことや新型コロナウイルスのワクチン開発期待の高まりなどから、米ドル円が一時上昇(円安)する局面もあったものの、米国の金融緩和が長期化するとの思惑や米国の実質金利が低下したことなどから、米ドルは対円で下落しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

外貨建資産の運用にあたっては、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。

◆ポートフォリオについて

当ファンドは、外貨建資産の運用にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託しております。

当作成期の株式組入比率は、おおむね90%以上の高位を維持しました。

銘柄選択にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーでは、独自に算出する投資対象企業の本源的価値と比較して著しく割安な銘柄に厳選投資することを基本方針としています。財務内容が健全であり、経営陣の質が高く、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている企業に厳選投資しました。セクター別では、コミュニケーション・サービスや金融を高位で組み入れました。銘柄別では、ALPHABET(コミュニケーション・サービス)、KEURIG DR PEPPER(生活必需品)、CBRE GROUP(不動産)などを高位で組み入れました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

外貨建資産の運用にあたっては、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。

■１万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料	5円
（株式）	(5)
有価証券取引税	0
（株式）	(0)
その他費用	5
（保管費用）	(4)
（その他）	(0)
合計	10

（注１）費用の項目および算出法については前掲の「１万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。
（注２）項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況
株　式

（2020年５月29日から2020年11月30日まで）

		買付		売付	
		株数	金額	株数	金額
		百株	千アメリカ・ドル	百株	千アメリカ・ドル
外国	アメリカ	1,654.08	7,409	2,299.6	17,415
		(—)	(—)		

（注１）金額は受渡し代金。
（注２）（ ）内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。
（注３）金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
株　式

（2020年５月29日から2020年11月30日まで）

当期 買付				当期 売付			
銘柄	株数	金額	平均単価	銘柄	株数	金額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
KEURIG DR PEPPER INC（アメリカ）	91.9	277,338	3,017	PINTEREST INC- CLASS A（アメリカ）	81.19	305,377	3,761
AUTOMATIC DATA PROCESSING（アメリカ）	11.225	165,770	14,767	MOODY'S CORP（アメリカ）	4.925	148,597	30,172
CDK GLOBAL INC（アメリカ）	29.93	139,730	4,668	NETFLIX INC（アメリカ）	2.455	139,068	56,646
POST HOLDINGS INC（アメリカ）	9.58	89,434	9,335	REGENERON PHARMACEUTICALS（アメリカ）	1.85	119,827	64,771
BANK OF AMERICA CORP（アメリカ）	15.485	40,070	2,587	HILTON WORLDWIDE HOLDINGS IN（アメリカ）	11.465	114,033	9,946
HCA HEALTHCARE INC（アメリカ）	3.443	39,098	11,355	ALPHABET INC-CL C（アメリカ）	0.585	100,697	172,132
MANPOWERGROUP INC（アメリカ）	3.845	27,750	7,217	AGILENT TECHNOLOGIES INC（アメリカ）	8.63	91,285	10,577
				CHARTER COMMUNICATIONS INC-A（アメリカ）	1.34	87,554	65,339
				POST HOLDINGS INC（アメリカ）	8.01	76,395	9,537
				CBRE GROUP INC - A（アメリカ）	12.595	68,615	5,447

（注１）金額は受渡し代金。
（注２）金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表
外国株式

銘柄	期首	当期末			業種等
	株数	株数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円	
（アメリカ）					
MOODY'S CORP	73.19	23.94	663	68,948	金融
CITIGROUP INC	249.45	192.3	1,089	113,215	金融
AUTOMATIC DATA PROCESSING	—	99.8	1,748	181,703	情報技術
CDK GLOBAL INC	—	280.7	1,311	136,302	情報技術
POST HOLDINGS INC	143.9	159.6	1,546	160,684	生活必需品
HILTON WORLDWIDE HOLDINGS IN	277.6	162.95	1,701	176,754	一般消費財・サービス
HCA HEALTHCARE INC	125.25	125.48	1,920	199,517	ヘルスケア
AGILENT TECHNOLOGIES INC	226.65	140.35	1,601	166,354	ヘルスケア
ALPHABET INC-CL C	25.5	19.65	3,523	366,068	コミュニケーション・サービス
FACEBOOK INC-CLASS A	75.4	58.15	1,615	167,830	コミュニケーション・サービス
MANPOWERGROUP INC	149.25	150.25	1,357	140,984	資本財・サービス
WORKDAY INC-CLASS A	86.9	67	1,499	155,820	情報技術
LIVANOVA PLC	235.15	181.3	983	102,181	ヘルスケア

ダイワ米国厳選株マザーファンド

銘柄	期首	当期末			業種等
	株数	株数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円	
PINTEREST INC- CLASS A	811.9	—	—	—	コミュニケーション・サービス
REGENERON PHARMACEUTICALS	18.5	—	—	—	ヘルスケア
BOOKING HOLDINGS INC	12.14	9.34	1,917	199,177	一般消費財・サービス
ENVISTA HOLDINGS CORP	530.4	408.9	1,206	125,360	ヘルスケア
CHARTER COMMUNICATIONS INC-A	39.25	25.85	1,661	172,627	コミュニケーション・サービス
CBRE GROUP INC - A	481.75	355.8	2,175	225,961	不動産
NETFLIX INC	40.2	15.65	768	79,889	コミュニケーション・サービス
BANK OF AMERICA CORP	533.85	550.7	1,596	165,858	金融
AMERICAN INTERNATIONAL GROUP	525.35	401.65	1,594	165,699	金融
NATIONAL OILWELL VARCO INC	267.15	216.7	284	29,604	エネルギー
KEURIG DR PEPPER INC	—	804.05	2,473	256,946	生活必需品
SCHWAB (CHARLES) CORP	361.9	279	1,386	144,056	金融
LEAR CORP	130.8	100.85	1,478	153,597	一般消費財・サービス
COMCAST CORP-CLASS A	235.8	181.75	940	97,714	コミュニケーション・サービス
ファンド合計 株数、金額	5,657.23	5,011.71	38,048	3,952,860	
ファンド合計 銘柄数<比率>	24銘柄	25銘柄		<96.2%>	

（注1）邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
（注2）＜　＞内は純資産総額に対する評価額の比率。
（注3）評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年11月30日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
株式	3,952,860	96.2
コール・ローン等、その他	158,139	3.8
投資信託財産総額	4,111,000	100.0

（注1）評価額の単位未満は切捨て。
（注2）外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、11月30日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝103.89円です。
（注3）当期末における外貨建純資産（4,067,725千円）の投資信託財産総額（4,111,000千円）に対する比率は、98.9%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年11月30日現在

項目	当期末
(A)資産	**4,111,000,100円**
コール・ローン等	158,007,756
株式（評価額）	3,952,860,448
未収配当金	131,896
(B)負債	**—**
(C)純資産総額（A－B）	**4,111,000,100**
元本	1,001,346,484
次期繰越損益金	3,109,653,616
(D)受益権総口数	**1,001,346,484口**
1万口当り基準価額（C／D）	**41,055円**

＊期首における元本額は1,296,774,566円、当作成期間中における追加設定元本額は67,362,104円、同解約元本額は362,790,186円です。
＊当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ米国厳選株ファンド －イーグルアイー Aコース（為替ヘッジあり）257,948,092円、ダイワ米国厳選株ファンド －イーグルアイー Bコース（為替ヘッジなし）645,111,319円、ダイワ米国厳選バリュー株ファンド（ダイワＳＭＡ専用）98,287,073円です。
＊当期末の計算口数当りの純資産額は41,055円です。

■損益の状況

当期　自2020年５月29日　至2020年11月30日

項目		当期
(A)配当等収益		**16,326,121円**
受取配当金		13,411,165
受取利息		536
その他収益金		2,927,662
支払利息	△	13,242
(B)有価証券売買損益		**881,674,714**
売買益		1,035,262,980
売買損	△	153,588,266
(C)その他費用	△	**527,217**
(D)当期損益金（A＋B＋C）		**897,473,618**
(E)前期繰越損益金		**3,031,751,916**
(F)解約差損益金	△	**990,209,814**
(G)追加信託差損益金		**170,637,896**
(H)合計（D＋E＋F＋G）		**3,109,653,616**
次期繰越損益金（H）		**3,109,653,616**

（注1）解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。
（注2）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。